

SSH通信

理数科講演会

2019.6.24 (月) 理数科1,2学年

これからの行事

8/30(金)～31(土) 三高祭(SSH関連発表)	全学年
9/14(土) わくわくサイエンス	希望者
9/15(日) 日本植物学会	希望者



● 講義を終えて

渡辺先生の講義ではキャリア形成のポイントについて学びました。講義中、教授は私たちにいくつもの質問を投げかけました。その中でも「10年後何をしておくか」、この質問にはかなり考えさせられました。私には薬剤師という夢と感性的、性格的な目標しかなく、10年後に何をしたいかを考えたことがなかったので、もう少し具体的に将来を考えてみようと思われさせられました。講義後にあらためて、10年後に何をしたいかと考えた時、将来、眼薬の研究をしようと思いました。そうあるためには、今やるべきことをしっかり大切に、自分に必要だと思つたものをこれから身につけていこうと思いました。

(1年理数科 三浦 悠大)



● 渡辺先生の講義を聴いて

6月24日、東北大学の渡辺正夫先生が仙台三高にいらして講義をしてくださいました。この講義を聞く前は、人生を成功させるにはとりあえず有名大学に受ければ良いと思っていましたが、それは間違っており、人生を成功させるためには将来の自分の職について論理的に考察しなければならず、大学はその手段の一つではないという事に気づかされました。また、渡辺正夫先生はご自身の話を一方的にするのではなく、色々な生徒へ質問をなされ、その返答が論理的になるまで質問を繰り返されていました。

渡辺正夫先生の講義は僕が経験した中で他に類を見ない内容で、とても印象に残りました。そして、この講義から気づかされた事を普段から意識していこうと思つました。

(1年理数科 飯田 剛矢)

● 「考える」ことの大切さ

6月24日、私たちは東北大学の渡辺先生から課題研究のあり方と将来に向けたキャリア形成のポイントを教わった。特に先生は、私たちに「考える」ことの大切さを教えてくれた。もちろん、研究において私たちは、「考える」ことをしなければ何も始まらない。日頃の学習においても、近年、「考える」ことの重要性が唱えられるようになり、今後始まる共通テストでは思考力も問われるようになる。先生は、何も考えないで今を過ごしてはいけない、とおっしゃっていたので、これから私は、日々の生活から「考える」ことを意識して生活していきたいと思う。

(2年理数科 小林 聖弥)

● 講演会を終えて

今回の理数科講演会では、東北大学大学院生命科学研究科教授の渡辺正夫先生をお迎えして、将来のキャリア形成やそのためのプロセスについてご講演をいただきました。私はこの中で、世の中のあらゆる事象に対して関心を持ち、「なぜ」という問いを持つことの大切さを学びました。先生から投げかけられた問いに対しては、特に1年生を中心に活発な意見が出され、自分の参考になりとても有意義な時間でした。今後の課題研究やその後のキャリア形成に生かしていきたいと考えています。

(2年理数科 箕輪 好一郎)



Information

SSH課外活動は、理数科・普通科の別や学年を問わず本校生徒なら誰でも参加できるものがほとんどです。ぜひ、積極的に参加してください。

ひらめきサイエンス 2019.7.13 (土) 全学年希望者

● ひらめきサイエンス

今回、私たちは宮城教育大学附属中学校にて銅の加熱実験についての授業を行ってきました。実際に授業をしてみると、想定外のハプニングや思い通りにいかない場面もありました。しかし、こちらの指示がなくても自主的にメモを取りながら聞いてくれたり、生徒同士で議論をし合ったりなど、意欲的に授業を受けてくれました。何度も放課後に集まり、話し合いを重ねて作り上げた授業をこのように受けてもらえるのはとても嬉しかったです。教わる側ではなく教える側に立つことで、多くの気づきや学びを得ることができました。この経験を、今後の学校生活や将来の為に生かしていきたいと思つています。

(2年普通科 皆川 文吾)

宮城県仙台第三高等学校

仙台市宮城野区鶴ヶ谷1-19

TEL 022(251)1246

FAX 022(251)1247

E-mail sensan@od.myswan.ed.jp

学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2019

2019.7.14 (日) 自然科学部化学班

●サイエンスデイ

私たち自然科学部化学班は東北大学に行き、サイエンスデイで小学生たちに実験教室を開いてきました。そこで液体窒素、空気砲、新型スライムの3つの実験をしてきました。サイエンスデイ当日まで念入りに練習してきましたが、緊張して言葉が出なかったり、子供たちが予想とは異なることを言ったりなど、小さなトラブルに見舞われましたが、実験を楽しんだ子が多くて、達成感を味わうことが出来ました。

(2年普通科 柳内悠吾)



第一回SS講演会2019.7.17 (水) 全学年希望者

●放射線の可能性

今回、私は東北大学の田代先生の講演を聴きました。最初はアルファ線、ベータ線、ガンマ線とは何かという初歩的な話から始まり、その性質を生かしたがん治療の方法や画像診断の方法など、なかなか聞くことの出来ない深いお話を聞くことができました。その中で、特にがんという死亡率の最も高い病気を治すことができる放射線の可能性を感じました。一方で、金銭面などの問題点も知ることができました。まだまだ理解することが難しい部分もあったので、大学でより詳しく学び、理解を深め、将来の仕事に生かしていきたいと思っています。

(3年理数科 大槻 祐輔)



第4回福島第一廃炉国際フォーラム学生セッション2019.8.2 (金) 全学年希望者

●福島廃炉学生セッションに参加して

8月2日から4日にかけて、福島県で行われた第一原発廃炉国際フォーラム学生セッションに参加しました。このセッションには高校生が集まり、福島第一原発の廃炉についてテーマごとに話し合いをしました。それにあたり、福島に関する様々な講演を聞く機会がありました。また、私たちはそれらで得たことをもとにポスターを作成し、プレゼンテーションを行いました。私はこれらの活動を通して福島の現状を知ることができたと同時に、住んでいる県などによって福島原発の情報に格差が生じていると感じました。そのため、より多くの人に福島について知ってもらいたいと思います。今回の活動は若い世代の人が原発について考える有意義な時間でした。

(1年理数科 渡邊律)

●これからの廃炉と福島の復興

私は8月2日～8月4日の廃炉国際フォーラムで福島の現在を自分の目で見ることができました。楡葉町などのように復興が進んでいるところもあれば、大熊町のようにまだ人があまり住んでいない地域もあり、復興の進捗状況には差があるのだということを知りました。また学生セッションでは色々な高校生同士で、風評被害をなくしたり廃炉が終わった後の町に人がまた移住してもらうためにはどうすればよいかなど有意義なセッションができたと思います。私は、このフォーラムを通して、本当の復興とは廃炉が終わることではなく、廃炉が終わった後の町が活性化することではないかと思いました。この問題は福島県民や東北地方の人だけのものではなく、日本全体が取り組まなければならないものです。私は、この活動を多くの人に知ってもらいたいと思っています。そして福島について興味を持ってもらう人が一人でも多く増えてほしいと願っています。

(2年普通科 高橋諒)

SSH生徒研究発表会2019.8.7 (水) ~8(木) 3学年理数科

●SSH生徒研究発表会

神戸で開催されたこの研究発表会は、今までで経験してきた中で一番規模が大きい場であり、自分たちの課題研究の活動の最後にしてとてもチャレンジングなものとなりました。今回のメインはポスター発表であり、1日に6時間以上の発表時間があるなどといった過密スケジュールをこなすのはとても大変でしたが、結果として見事生徒投票賞を取ることで本当に良かったと思います。私たちの活動に少しでも関わってくださった全ての皆さんに感謝申し上げます。

(3年理数科 下山 凌空)

